

令和6年12月2日(月)

校長室より(104)



こんにちは。

きのう 昨日から12月になっています。2024年(令和6年)最後の月になって

しまいました。12月のことを『師走』とも言っているのは知っていますか？師走とは、

師走の語源としてよく知られているのが、師走の『師』は、僧侶(お坊さん)という説でしょう。

昔の日本では、年末になると多くの家庭で、ご先祖様の供養で仏事を行う習慣がありました。その時に欠かせないのが『僧侶』です。あちらこちらの家庭に呼ばれ、お経を唱えるために忙しく走り回っている僧侶の姿がありました。僧侶は『師』を指していましたので、『師が馳せる(走る)』という言葉から師走になったという説です。

また、現代の子供たちは、『師』というと、およそ『先生』をイメージすると思います。たしかに昔は、お坊さんが子供たちに勉強を教えていた時代もありました。そこから『先生(師)が忙しく振舞う(走り回る)月』という説もあるようです。

『教えて！知恵袋』ホームページ

2024年に学校に来るのも、あと14日間です。もうすぐ冬休みですね。

のびっ子タイムに、わたぼうしの会の方々による『クリスマスおはなし会』がありました。今日は、1・4・6年生が対象でした。パネルシアターによる『ヘンゼルとグレーテル』のお話でした。私は、ちょうどお客さんが来ていて見に行けなかったもので、来週2・3・5年生と一緒に見ようと思っています。

もうすぐクリスマスですね。

